

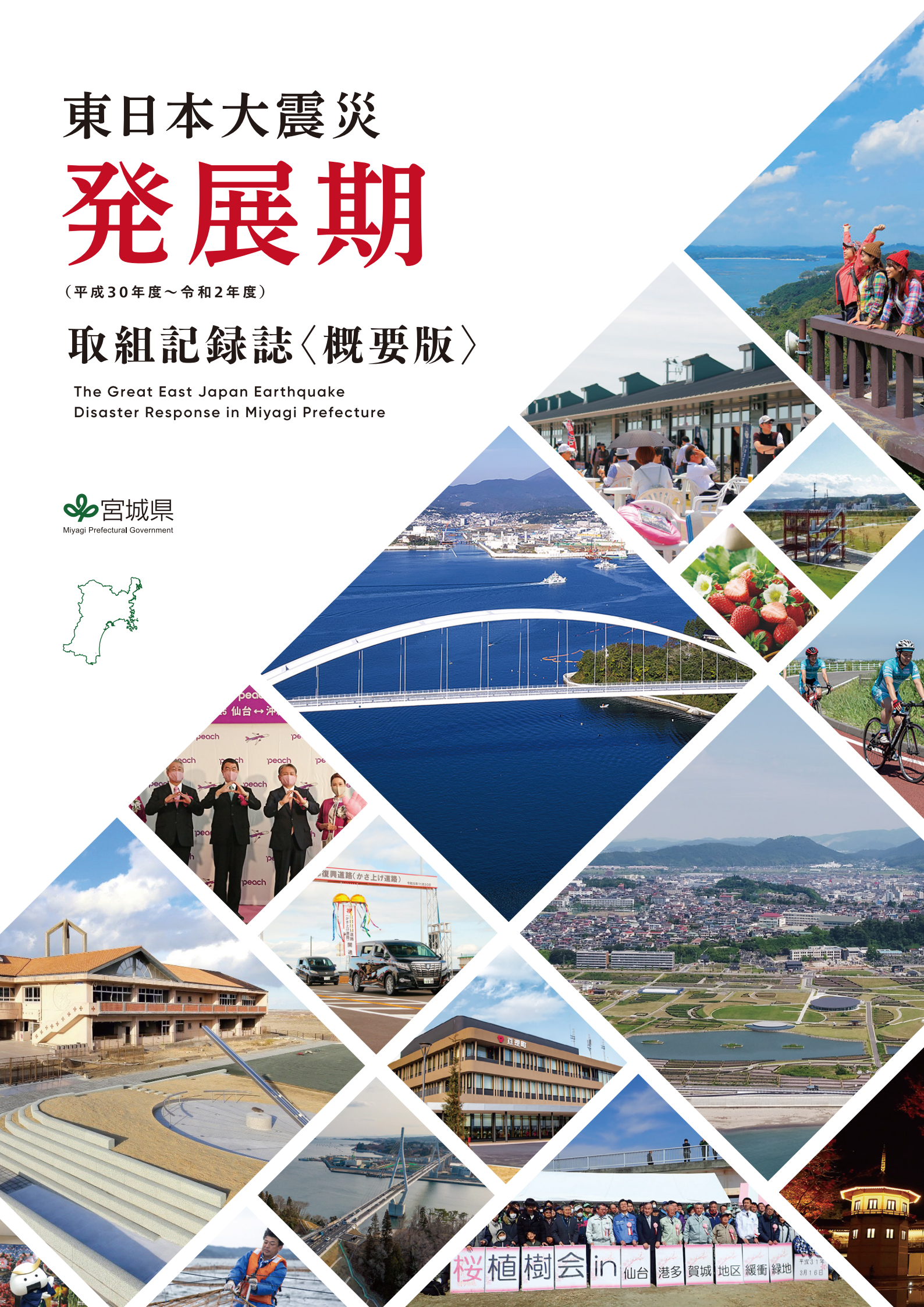
# 東日本大震災 発展期

(平成30年度～令和2年度)

## 取組記録誌〈概要版〉

The Great East Japan Earthquake  
Disaster Response in Miyagi Prefecture

 宮城県  
Miyagi Prefectural Government



桜植樹会 in 仙台 港多賀城地区緩衝緑地 平成31年 8月16日



# はじめに

多くの尊い命が奪われ、甚大な被害をもたらした東日本大震災から11年が経過いたしました。これまで、国内外の皆さまから多大なる御支援、御協力を賜りましたことに、改めて感謝申し上げます。

震災の発生からこれまで、県では被災市町や国、民間の方々と力を合わせ、復旧・復興に全力で取り組んできました。「宮城県震災復興計画」の10年の計画期間においては、復旧にとどまらない抜本的な再構築による創造的な復興を掲げ、水産業復興特区や医学部の新設、仙台空港の民営化などに果敢に挑戦し実現してまいりました。

今年度においては「三陸縦貫自動車道」が全線開通し、水産業をはじめとする沿岸地域の産業振興と交流人口の拡大に大きな役割が期待されております。また、亡くなられた方々の追悼や震災の記憶と教訓の伝承などを目的とした「みやぎ東日本大震災津波伝承館」が石巻市南浜地区に開館しました。

ハード事業に一定の道筋がついた一方で、心のケアやコミュニティの再生などのソフト対策は、今後も継続して取り組む必要があります。また、最大の被災地の

責務として、震災の記憶や教訓を国内外に発信し将来に伝え継いでいかななくてはなりません。県といたしまして、一つひとつの課題に応じた丁寧かつ継続的な支援に努めてまいります。

本誌は、「宮城県震災復興計画(平成23年10月策定)」で定めた「発展期」に当たる平成30年度から令和2年度における本県の復興に向けた取組等を記録したものです。

時間の経過に伴い、震災の記憶や教訓等の風化が一層懸念される中、本誌が今後発生し得る大規模災害への対応や、他の被災地域における復旧・復興の取組の参考になるとともに、安全安心な地域づくりの一助となるよう、多くの方々にご活用いただければ幸いです。

令和4年3月

宮城県知事  
村井嘉浩

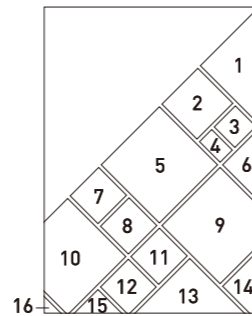


## 目次

はじめに.....	01	復興の歩み(平成30年度～令和2年度の出来事).....	22
東日本大震災の概況と被災状況.....	02	第2部	
「宮城県震災復興計画(平成23年10月策定)」の概要.....	03	第1章 復興のポイントにおける10年間の取組.....	23
特集1 観測史上最大規模の地震だった東日本大震災の報道.....	04	第2章 分野別の復興の方向性における10年間の取組.....	25
第1部		特集3 市町村から見た東日本大震災の復旧・復興.....	29
第1章 復興に向けた取組10のポイント 発展期(平成30年度～令和2年度)の主な取組.....	05		
第2章 分野別の復旧・復興の取組状況			
01 環境・生活・衛生・廃棄物.....	07		
02 保健・医療・福祉.....	08		
03 経済・商工・観光・雇用.....	09		
04 農業・林業・水産業.....	10		
05 公共土木施設.....	11		
06 教育.....	12		
07 防災・安全・安心.....	13		
特集2 次世代の伝承.....	14		
第3章 地域別の復旧・復興の取組状況			
01 気仙沼・本吉エリア.....	15		
02 石巻エリア.....	17		
03 仙台沿岸エリア.....	19		
04 内陸エリア.....	21		

### 表紙使用写真

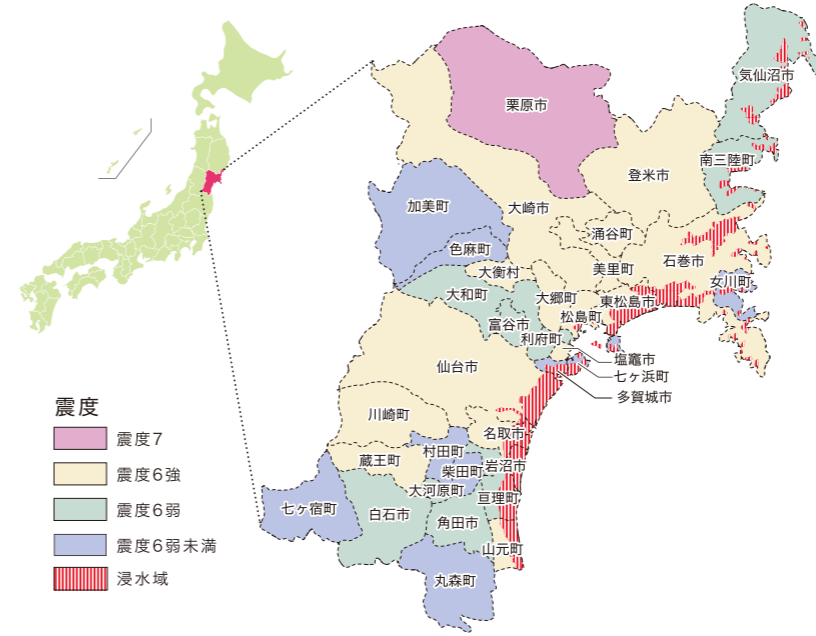
- 1 宮城オルレ奥松島コース
- 2 かわまちてらす閣上
- 3 南三陸町震災復興記念公園
- 4 にこここベリ-
- 5 気仙沼大島大橋架橋
- 6 名取市サイクルスポーツセンター
- 7 peach仙台-那覇線 新規就航
- 8 東部復興道路開通式
- 9 石巻南浜津波復興記念公園
- 10 山元町震災遺構 中浜小学校
- 11 亶理町役場新庁舎
- 12 三陸縦貫自動車道気仙沼架橋
- 13 桜植樹会in仙台港多賀城地区緩衝緑地
- 14 宮城県松島雑宮
- 15 令和2年度漁師カレッジ(長期)
- 16 むすび丸「羽織袴バージョン」デビュー



# 東日本大震災の概況と被災状況

平成23年3月11日(金)14時46分、牡鹿半島の東南東130km付近(三陸沖)で、深さ24kmを震源とするマグニチュード9.0の地震が発生し、県内では栗原市で最大震度7を観測し、県内の広い範囲で震度6強から5強を観測しました。

この地震により、本県をはじめとした太平洋沿岸部に大規模な津波が発生し、海沿いの集落が軒並み浸水被害を受けたほか、河川を遡上した津波により仙台平野などの平野部では海岸線から数kmもの内陸まで広範囲に浸水しました。



発生日時  
平成23年3月11日(金)14時46分

発生場所  
三陸沖(北緯38.1度、東経142.5度)  
※牡鹿半島の東南東130km付近

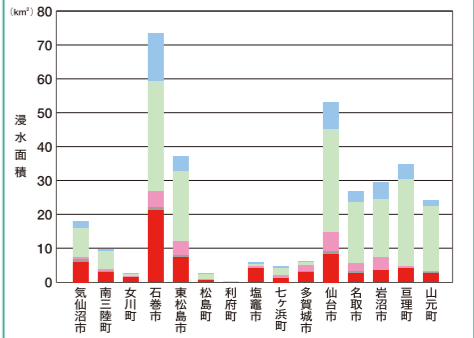
最大震度  
**震度7(栗原市)**

マグニチュード  
**M9.0**

震源の深さ  
**24km**

■市町村別津波浸水範囲の土地利用別面積

■河川地及び湖沼・海浜・海水域 ■田・そのほかの農用地・森林・荒地・ゴルフ場  
■そのほかの用地(空港・港湾地区、人工造成地の空地等)  
■幹線交通用地 ■建物用地



浸水面積  
**327km<sup>2</sup>**

※東日本大震災における全浸水面積(561km<sup>2</sup>)の約6割に相当

## 被災状況の写真



写真: 気仙沼市(鹿折地区)の津波火災)



写真: 塩竈市(観光船発着場の岸壁を越流する津波)



写真: 仙台市(孤立する荒浜小学校)



写真: 岩沼市(県南浄化センターに押し寄せる津波)



写真: 山元町(津波被害を受けた坂元駅周辺の農地)



写真: 南三陸町(大量のガレキに囲まれた志津川地区)



写真: 石巻市(門脇小学校付近の延焼した自動車等の残骸)



写真: 名取市(津波被害を受けた仙台空港)



写真: 女川町(津波により横倒しになった女川交番)